



小中一貫校 南アルプス市立白根巨摩中学校

# 伝統からの創造

第 5 号

令和6年10月1日(火)

～思いやりの心と主体性・創造性を備えた巨摩中学生の育成～

自分のペースで生活していた夏休みが終わり、いよいよ始まった2学期。「気が重いな…」なんて思いを抱くのは当たり前ですね。そんな中、青少年育成南アルプス市民会議の皆様が中心となり、「あいさつ運動」が行われました。白根巨摩中学校でも毎朝5～8名の白根地区担当の方が、校門前に立ち、活動を展開してくださりました。こうして地域の方々に支えて頂いていることを実感すると共に、あいさつの後や交通整理の後、一言「今日もがんばって」「足元気をつけて」などひと言を添えるその姿に、一人一人の生徒を大事に思う心を見ました。大事にされた記憶を、生徒の心の中にたくさん残したい！と強く思う9月でした。

## 大成功の第48回桃響祭!!

9月20日(金)、21日(土)で開催された桃響祭。

オープニングでは、生徒会長が「仲間のがんばりを認め合い、互いに支え合える桃響祭にしたい」と熱い思いを述べ、声高らかに開祭を宣言しました。続く開祭式の中で校長先生は、白根巨摩中学校の学園祭はなぜ「桃響祭」というのか——、を語りかけました。その歴史や人々の思いを知ることで、学園祭の成功とは何か、この学園祭を通してどんな力をつけるべきか、を改めて一人一人が考えるきっかけとなったことと思います。1学期からこの2日間のために、取組を進めてきました。取り組み過程では、普段の学校生活ではなかなか味わえない苦悩や困難、葛藤などがありました。時に先生方の力を借りながら、仲間と共に何とか乗り越え、新たなものを創り上げるという素晴らしい経験を積み上げ、個として、集団として確かな力を蓄えることができました。そうして迎えた本番。学級・学年・全校が思いをひとつに、それぞれの力を十分に発揮し、感動の桃響祭を創り上げることができました。

安心して生徒も私達教職員も目の前の活動に専念できますのは、ひとえに保護者の皆様、地域の皆様の支えがあるからこそです。有り難うございます。また、当日多くの皆様にご参観頂きました。心より感謝申し上げます。

### 1学年発表「グッドバイ・マイ…」

「キャストをはじめ、ダンス隊、大道具、小道具、音響、照明、エンドロールなど様々な担当に分かれて、それぞれができることを一生懸命に取り組みました。その結果、本番では今まで練習してきた中で一番素晴らしい舞台を観客に見せることができました。様々な方から『1年生の舞台良かった』という声を頂きましたね。1年生の底力を改めて教えられたように感じました。

しかし、2・3年生の舞台はさらに素晴らしいものでした。たくさん感動をもらいました。来年、再来年、また今以上の舞台を緑学年全員で作りにあげていきましょう。みんなならきっと今の先輩方を超えることも夢ではありません。楽しみです!!」(「学年だより」より)



## 2学年発表「夢を信じて」

「今年の劇は、手話を取り入れた劇への挑戦でした。キャストが手話でのセリフを伝えるだけでなく、4曲のダンスに加え、劇の最後の場面では、南プス合唱団が歌う合唱曲「命あるかぎり」の歌詞に手話をつけて発表しました。夏休みから動画を見て練習を重ね、本番1週間前に、高校の手話パフォーマンス部との交流でご指導頂きました。私は、みんなが生活していく社会の中で、人それぞれが持つ性格、能力、特性などをお互いが認め合いながら共に過ごせるようになってほしいと思っています。そのような世の中が当たり前になった時、「多様性」という言葉が今よりは使われなくなる世の中になっていくのだと思います。青学年の温かさでもっと笑顔が増えるとうれしいです。」(「学年だより」より)



## 3学年発表「ヒロシマ」

「さあ赤学年のみんな、挑む時がやってきた。桃響祭も勝敗だけではない。みんなは一人じゃない、赤学年みんなで同じ思いで前へ！」「～桃響祭で実を結ぶ3年間の集大成～今年の学年劇『ヒロシマ』は1年次、2年次の演劇を踏まえ『3年間の集大成』として、戦争について授業で考えながら、「全力赤魂」でのぞみました。キャスト、音響照明、大道具、小道具、背景、衣装の全員で創り上げた作品となりました。」(「学年だより」より)



生徒の心に残った思いを日々の生活や次の目標につなげていくことができるよう、教職員一同、今後も生徒とともに確かな歩みを続けてまいりたいと思います。

# 第2回 避難訓練実施

9月1日の防災の日に合わせて、4日(水)清掃の時間帯に、震度5弱の地震が発生したことを想定し、避難訓練を行いました。今回は訓練の日時を事前に伝えずに実施しました。生徒の当日の様子や振り返りのアンケートからも、訓練に真摯に向き合い、自ら考え行動している生徒が多かった様子が見られました。我が南アルプス市も南海トラフ巨大地震、首都直下型地震、激甚化・頻発化する豪雨、台風などの計り知れない自然災害のリスクに直面しています。今回明らかになった成果と課題を職員、生徒、保護者とで共有し、すべての生徒がいかなる状況下においても、自ら適切に判断し、主体的に行動できる資質・能力を身につけことができるよう安全教育を推進していきたいと考えています。ぜひご家庭でも、事前の準備、災害時の対応などについて日常的に話をしておいて頂きたいと思います。(文責:教頭)